

～附属病院遺伝子診療部では難治疾患の網羅的遺伝子解析（全エクソーム解析）を開始しました～

病気の多くは、環境（生活習慣を含む）と遺伝的な素因の両方が関係しますが、その一部に遺伝的な原因が主である（遺伝子の配列の違いや遺伝情報量のバランスの違いが大きく関係している）ものがあります。

そういう病気の特徴としては、

- ①いろいろな臓器に病気がある（多系統疾患）
- ②比較的稀である（希少疾患）
- ③家族で同様の方がいる（遺伝性）

などがあります。しかし遺伝子に問題が考えられても、原因がはっきりと同定できないものも多いのが実情です。

このため、横浜市立大学遺伝学教室では、これまで基礎研究として最先端の遺伝子解析を多数行ってきました。ヒトの遺伝子全体のうち、タンパク質になる部分を網羅的に解析していくことで、これまで他の解析によって原因が特定できなかった遺伝性疾患に対しても約25～30%の方で原因を特定できるようになってきました。

そこで、横浜市立大学附属病院 遺伝子診療部では、遺伝学教室の協力を得て、平成27年11月からこの解析を臨床の場に導入いたします。この事により、原因を究明したいご病気の方やご家族、主治医にとって病気の原因となる重要な情報を得られる可能性が出てきました。

検査にあたっては、当病院遺伝子診療部で受診して対象者となるか判断させていただきます。検査には遺伝カウンセリング料がかかります。解析対象となる場合には、ご病気の方自身とそのご両親に採血をお願いします。半年から1年程度で、結果をお返しします。結果も遺伝子診療部でお話いたします。

ご関心がある方、解析を希望される患者さんやご家族、主治医がおられましたら、下記、遺伝子診療部にご相談ください。

問い合わせ先： 附属病院遺伝子診療部 事務局
045-787-2692（直通：平日10時～17時）
e-mail：idenjimu@yokohama-cu.ac.jp